



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年1月31日
東

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 谷原 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 松永 和幸 (TEL) 03(5166)2500
 四半期報告書提出予定日 2018年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	244,851	2.4	21,565	△7.7	23,035	△8.4	25,495	25.9
2017年3月期第3四半期	239,047	1.6	23,368	4.3	25,147	6.0	20,253	14.2

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 26,142百万円(24.0%) 2017年3月期第3四半期 21,084百万円(24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	245.59	245.47
2017年3月期第3四半期	195.12	194.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	291,549	189,757	62.6
2017年3月期	389,537	173,674	42.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 182,645百万円 2017年3月期 166,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00
2018年3月期	—	47.50	—		
2018年3月期(予想)				47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	3.2	34,000	0.8	35,000	△3.1	33,500	17.7	322.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期3Q	104,181,803株	2017年3月期	107,986,403株
② 期末自己株式数	2018年3月期3Q	367,751株	2017年3月期	4,177,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期3Q	103,812,814株	2017年3月期3Q	103,802,545株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2018年1月31日に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一般的に景気の回復基調が継続していたものと判断されます。企業部門において生産・輸出が増加基調を示し、企業収益については、収益性の向上を伴った上で年初以来の改善傾向が持続しておりました。設備投資についても潤沢なキャッシュフローを背景に緩やかな増加傾向を示しております。また、個人部門においても、雇用者所得の増加傾向は緩慢であるものの、雇用情勢の改善を受け、個人消費が持ち直す等、景気の回復基調を示す経済指標が確認される状況でありました。

景気の先行きにつきましては、企業収益並びに雇用情勢の改善が続く中で、緩やかな回復基調が継続していくものと考えられます。ただし、中東・東アジア地域における地政学上のリスクをはじめとして、米政権の政策運営や英国のEU離脱問題等、海外の政治経済情勢の先行き不透明感を背景に、今後も企業経営における景気動向判断については慎重さが必要であると考えております。

このような経済環境の下、ITサービス市場におきましては、働き方改革への取り組みや人手不足への対応等、顧客企業の生産性向上や効率化・省人化目的のIT投資を含むシステム更新投資需要が堅調でありました。また、戦略的事業の強化や競争優位性の確保といった、直接的に収益拡大に結びつく、いわゆる戦略的IT投資需要も拡大してきており、総じてITサービスに対する需要は増加基調にあったものと考えられます。

具体的には、製造業企業において、本格的な普及期を迎えつつあるIoTへの対応や電装化が進む自動車向けシステム対応、さらには、高度化する製品開発時の製品検証や製品サービスに対するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービス需要等により、ディールフローが堅調に推移しております。

また、流通業・サービス業他のコンシューマービジネスを手掛ける顧客企業を中心に、デジタルマーケティング強化・オムニチャネル化に向けてのEC・CRM領域やビッグデータ分析関連の投資等、戦略的なIT投資及びITサービス需要は拡大傾向にあります。

さらには、金融機関においても、一部の顧客企業に大型案件の完了に伴う投資需要反動減がみられるものの、銀行業・保険業を中心に、競争力強化を目的とする、例えばFinTech・AI等の新しいIT技術の活用や決済システム高度化に向けた対応等、システム開発他のIT投資需要が堅調に推移しております。

加えて、顧客企業経営層の業務効率向上に対しての強い意欲、顧客企業のIT人材不足を背景に、IaaS・PaaS他のITインフラ領域での各種クラウド型ITサービスへの需要、そして、まだ一部ではありますが、業務アプリケーション領域での各種ITサービス需要が増加基調にあったものと考えております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、製造業や流通業向けシステム開発や通信業向け保守運用・サービスが堅調に推移し、前年同期比2.4%増の244,851百万円となりました。

営業利益は、増収に伴う利益増はあったものの、上半期における戦略的事業・サービス提供型ビジネスの推進に向けての各種事業投資関連費用の増加や金融業向け大型システム開発案件の立ち上がりの遅れ等の影響があり、前年同期比7.7%減の21,565百万円となりました。

経常利益は、営業利益の減少等により、前年同期比8.4%減の23,035百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第3四半期連結会計期間におきまして、(株)クオカードの株式譲渡にかかる特別利益を計上したことにより、前年同期比25.9%増の25,495百万円となりました。

当社グループは、2016年3月期よりスタートしました5年間の計画期間とする中期経営計画の目標達成に向けて、「サービス提供型ビジネスへのシフト」、「時代の変化を捉えた戦略的事業の推進」、そして「グローバル展開 第2ステージ」の3つの基本戦略を現在積極的に推進しております。

当期は、これらの基本戦略に係る事業推進を相応の事業投資を行った上で着実に進めるとともに、さらなる業務品質の追求や生産性の向上をはじめとする各種経営基盤・収益力強化に向けての取り組みに注力してまいります。足元の堅調なIT投資需要を確実に取り込むことで収益力を維持・拡大するとともに、システム開発事業はもとより保守運用・サービス事業、そしてシステム販売事業の全事業において生産性・業務品質の向上に努め、収益基盤をさらに拡充してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ27,457百万円減少し、96,477百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は22,616百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益33,740百万円、減価償却費7,631百万円、売上債権の減少による資金の増加7,866百万円によるものであります。主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少4,642百万円、たな卸資産の増加による資金の減少2,616百万円、差入保証金の増加による資金の減少6,316百万円、投資有価証券売却損益10,749百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は29,496百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による資金の減少5,826百万円、無形固定資産の取得による資金の減少2,406百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出20,618百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は20,578百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による資金の減少10,000百万円、2017年3月期期末配当金(1株当たり47.5円)4,941百万円及び2018年3月期中間配当金(1株当たり47.5円)4,941百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の見通しにつきましては、2017年10月30日に公表いたしました2018年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正しております。

(2018年3月期 通期連結業績予想数値の修正)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	340,000	36,000	37,000	33,500	322円69銭
今回修正予想(B)	340,000	34,000	35,000	33,500	322円69銭
増減額(B-A)	—	△2,000	△2,000	—	—
増減率(%)	—	△5.6	△5.4	—	—
(ご参考)前期実績	329,303	33,714	36,121	28,458	274円16銭

売上高につきましては、顧客企業の堅調な戦略的投資並びに効率化投資需要を背景に、当社のITサービスに対する需要は堅調であり、期初想定に沿った着地となるものと想定されますが、営業利益につきましては、戦略的事業・サービス提供型ビジネスの推進に向けての各種事業投資関連の費用が増加したことや、金融業向け大型システム開発案件の立ち上がりが期初想定から遅れたこと等により、前回予想を下回る見通しとなりました。

経常利益の修正につきましては、営業利益に対する影響を反映したものです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当第3四半期会計期間におきまして、㈱クオカードの株式譲渡における税効果計上の影響もあり、概ね前回予想並みとなる見通しです。

なお、本日公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご参照ください。

※業績予想につきましては、本決算短信の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,363	16,655
受取手形及び売掛金	65,764	57,113
営業投資有価証券	6,056	—
商品及び製品	6,779	7,169
仕掛品	341	977
原材料及び貯蔵品	50	44
預け金	98,171	79,822
差入保証金	45,359	—
その他	22,466	17,693
貸倒引当金	△47	△34
流動資産合計	272,306	179,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,863	33,453
土地	19,821	19,821
その他（純額）	13,862	17,972
有形固定資産合計	68,546	71,247
無形固定資産		
のれん	133	91
その他	11,691	10,905
無形固定資産合計	11,825	10,997
投資その他の資産		
投資有価証券	9,564	10,611
その他	27,417	19,368
貸倒引当金	△124	△117
投資その他の資産合計	36,857	29,862
固定資産合計	117,230	112,107
資産合計	389,537	291,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,362	16,495
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	15,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	5,000
未払法人税等	2,262	1,636
賞与引当金	6,418	1,999
役員賞与引当金	195	31
工事損失引当金	50	321
カード預り金	91,828	—
その他	26,802	24,700
流動負債合計	183,919	65,185
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	5,000	—
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	2,359	1,567
資産除去債務	2,278	2,362
その他	2,284	2,655
固定負債合計	31,943	36,607
負債合計	215,862	101,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	3,047	1,299
利益剰余金	151,722	161,373
自己株式	△8,425	△718
株主資本合計	167,497	183,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,308	2,464
繰延ヘッジ損益	△5	8
為替換算調整勘定	△73	△45
退職給付に係る調整累計額	△2,829	△2,890
その他の包括利益累計額合計	△599	△462
新株予約権	70	64
非支配株主持分	6,706	7,047
純資産合計	173,674	189,757
負債純資産合計	389,537	291,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	239,047	244,851
売上原価	180,034	186,240
売上総利益	59,013	58,610
販売費及び一般管理費	35,644	37,045
営業利益	23,368	21,565
営業外収益		
受取利息	50	59
受取配当金	66	65
持分法による投資利益	344	365
投資有価証券売却益	296	—
カード退蔵益	1,099	1,006
その他	171	239
営業外収益合計	2,027	1,736
営業外費用		
支払利息	121	96
投資有価証券売却損	—	1
その他	127	168
営業外費用合計	248	266
経常利益	25,147	23,035
特別利益		
固定資産売却益	13	2
投資有価証券売却益	669	10,750
特別利益合計	683	10,753
特別損失		
固定資産除却損	23	14
固定資産売却損	27	30
減損損失	37	—
投資有価証券評価損	7	—
会員権売却損	0	—
会員権評価損	3	3
特別損失合計	99	48
税金等調整前四半期純利益	25,730	33,740
法人税、住民税及び事業税	1,759	3,376
法人税等調整額	3,157	4,361
法人税等合計	4,917	7,738
四半期純利益	20,813	26,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	559	506
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,253	25,495

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	20,813	26,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	665	117
繰延ヘッジ損益	74	13
為替換算調整勘定	△434	17
退職給付に係る調整額	14	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	62
その他の包括利益合計	271	141
四半期包括利益	21,084	26,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,512	25,632
非支配株主に係る四半期包括利益	572	510

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,730	33,740
減価償却費	6,268	7,631
のれん償却額	75	42
減損損失	37	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△195	△19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,579	△705
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	13
固定資産除却損	23	14
固定資産売却損益(△は益)	13	27
投資有価証券評価損益(△は益)	7	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△965	△10,749
持分法による投資損益(△は益)	△344	△365
受取利息及び受取配当金	△116	△125
支払利息及び社債利息	121	96
投資事業組合運用損益(△は益)	5	△158
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	2,943	2,091
売上債権の増減額(△は増加)	6,596	7,866
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,276	△2,616
差入保証金の増減額(△は増加)	△6,924	△6,316
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,850	△4,642
カード預り金の増減額(△は減少)	4,445	1,790
その他	△3,532	△2,491
小計	28,486	25,126
利息及び配当金の受取額	285	288
利息の支払額	△137	△113
支払補償金の支払額	△15	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,720	△2,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,898	22,616

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	700	—
有形固定資産の取得による支出	△7,231	△5,826
有形固定資産の売却による収入	1,161	7
無形固定資産の取得による支出	△5,013	△2,406
投資有価証券の取得による支出	△324	△592
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,109	196
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△20,618
短期貸付金の回収による収入	5	6
投資事業組合出資金の払戻による収入	73	40
敷金及び保証金の差入による支出	△100	△241
敷金及び保証金の回収による収入	107	204
その他	△239	△265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,752	△29,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,000	△10,000
社債の発行による収入	10,000	10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△572	△510
自己株式の取得による支出	△8	△17
自己株式の売却による収入	1	1
配当金の支払額	△8,582	△9,883
非支配株主への配当金の支払額	△159	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	679	△20,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	△372	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,453	△27,457
現金及び現金同等物の期首残高	98,445	123,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,899	96,477

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	製造システム	通信システム	流通システム	金融システム	ソリューション	ビジネス サービス	プラット フォーム ソリューション
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	29,141	19,755	33,808	52,122	17,507	31,726	52,050
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,841	878	7,426	705	2,416	1,760	4,344
計	31,982	20,633	41,234	52,828	19,923	33,486	56,395
セグメント利益	2,951	3,744	4,888	5,301	945	2,460	4,303

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	2,936	239,047	—	239,047
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,149	22,523	△22,523	—
計	5,085	261,571	△22,523	239,047
セグメント利益	313	24,909	△1,541	23,368

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,541百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	製造システム	通信システム	流通システム	金融システム	ソリューション	ビジネス サービス	プラット フォーム ソリューション
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	29,773	19,511	34,480	52,484	18,916	32,807	53,351
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,345	824	7,411	1,097	3,008	1,477	4,776
計	32,118	20,335	41,892	53,582	21,924	34,285	58,127
セグメント利益	2,892	3,676	4,170	4,565	885	2,167	4,639

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	3,526	244,851	—	244,851
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,267	23,208	△23,208	—
計	5,794	268,060	△23,208	244,851
セグメント利益	272	23,269	△1,704	21,565

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,704百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、「プリペイドカード」を構成していた㈱クオカードの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「プリペイドカード」のセグメント資産が、66,250百万円減少しております。また、全社資産として調整額に含めていた資産が、43,000百万円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より社内組織の一部を見直しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、「プリペイドカード」を構成していた㈱クオカードの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、「プリペイドカード」について量的な重要性が減少したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。